



2015 秋季藻類シンポジウム

温暖化時代の海藻資源を考える

日 時： 2015年10月9日(金)13:30-17:00
 会 場： 学士会館(東京都千代田区神田錦町3-28)
 参加費： 無 料(会員外の希望者のみ講演要旨集代 1,000円)
 主 催： 日本海藻協会

12:15 - 13:15 総会(正会員のみ)

13:15 開場

司会 (株)フィラガー 鈴木 実

13:30 - 14:10 開会のあいさつ 続いて

海藻資源と温暖化

日本海藻協会会長 藤田 大介

14:10 - 15:10

有用海藻は高水温環境下でどこまで生きられるか

(財)海洋生物環境研究所 研究参事 馬場 将輔

15:10 - 15:20 休憩

15:20 - 16:20 東シナ海は東洋のサルガッソーシー

～ 海外海藻情報 セネガル共和国ダッカ周辺の花藻事情

鹿児島大学副学長 野呂 忠秀

16:20 - 16:55 会員交流の時間

藻味噌無料配布

16:55 - 17:00 閉会のあいさつ・日本海藻協会の紹介

日本海藻協会事務局長 竹中 裕行

(講演時間は質疑応答を含む)

17:00-19:00 懇親会(一般:7,000円/人, 正会員:1名招待, 2人目から5000円/人, 准会員:5000円/人)。

<企画趣旨>

海藻の生育には、光、水温、栄養塩、波浪、植食動物など、様々な要因が影響を及ぼします。このうち、最も広い範囲で、直接的、間接的に影響を及ぼしうるのが水温です。近年、変動を繰り返しながらも、長期的にみると地球規模で温暖化が進んでおり、さらなる海水温の上昇や異常気象の増加が懸念され、海藻資源の動向も気になるところです。実際、日本の沿岸でも藻場の衰退や分布南限の北上、四季藻場の春藻場化、大規模な海藻の流失などが認められており、藻場をとりまく磯根資源にも影響を与えています。今回は、高水温に対する有用海藻の反応、東シナ海など亜熱帯・熱帯の海藻資源の現状を踏まえて温暖化時代の海藻資源を考えてみたいと思います。

参加者は、懇親会の参加の有無も書き添えて、9月30日までにお申し込み下さい。
 シンポジウムのみの参加者も、可能な限り、事前申し込みをお願いします。

申し込み先・問い合わせ先: 日本海藻協会事務局

〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町4-15 マイクロアルジェコーポレーション株式会社内

Tel: 058-248-1822 Fax: 058-248-1820 E-mail: info@japan-seaweed-association.com